

迫田先生への質問とご回答

(質問) 細胞表面にあるカモ型レセプター、ニワトリ型レセプターが感染するウイルスに認識されるとのことでしたが、野生のカモ類からウズラ等を介してニワトリに感染した段階で、ウイルスはカモ型、ニワトリ型双方のレセプターを認識するようになっているという理解でよろしいでしょうか？

(回答) ニワトリに感染した段階で、ニワトリ型レセプターにより親和性が高く、カモ型レセプターには親和性が低く変異しています。

(質問) ワクチンの乱用とはどういう状況なのか(同一個体に何度も接種する?)

また、乱用の結果何が起こるのか、教えていただけますでしょうか？

(回答) 中国、東南アジア、エジプトがそうですが、ワクチンを接種すると安心して、ウイルスの封じ込めを怠る(モニタリングを怠る、ウイルスを検出しても殺処分しない)事が起こります。ワクチンを接種しても、モニタリングを徹底し、ウイルスが検出されればウイルスの封じ込めを徹底する必要があります。

(質問) シベリア湖沼に世界中から新たなインフルがカモ類を通して供給されるとのことですが、湖沼内はあらゆるインフルプールになるということが予想されます。湖沼でカモ類が不顕性？感染するインフルは年によって異なるのですか？感染しやすさとか、昨年感染したから今年は別のに感染してるとか？

(回答) 毎年全ての鳥に同じウイルスが感染している訳ではないので、群全体で見ると、そのような偏りはないと思います。もちろん個体ベースで見ると昨年感染したことにより免疫が残っている個体は同じウイルスに翌年感染しウイルスをまき散らす可能性は低いと思います。

(質問) 同じ年でも世界で報告される鳥インフルは同一の型ではなく、H5N1、H5N6、H5N8、H7N7 等の色んな型が報告されています。その原因は何なのでしょう？

(回答) H5 亜型は 1996 年に出現した高病原性鳥インフルエンザウイルスが現在も流行が続いています。NA の亜型が変わるのは、家禽や野鳥でより増殖しやすいウイルスが選択されて、定着するためです。その NA 亜型が変わるのを遺伝子再集合(リアソータント)と言います。H7 亜型も似たメカニズムです。

(質問) 流行した翌年は、前年に供給された流行株が湖沼にいっぱいあるため、今年は再度、流行するのではと危惧しています。しかしこれまで、同一型の流行が引き続きおこることは 28-29 シーズンと 29-30 シーズン以外にはなかったのですが、なぜでしょうか？

(回答) エビデンスに基づく明確な答えはありません。複数年連続して発生しないのは、感染しても生き残った抗体陽性の個体が集団の中心となっていると考えられてきました。し

かし、欧州で 2019–2020、2020–2021 年度連続しているので、新たなフェーズ（毎年発生する）に入るかもしれません。

紹介動画（黒木センター長）への質問とご回答

（質問）なぜ肉養鶏より採卵鶏の方が殺処分が多いのですか？ 関東(特に千葉)が採卵鶏を、関西が肉養鶏を殺処分することが多いという違いは何ですか？

（回答）採卵鶏農場は肉用鶏農場よりも 1 農場当たりの飼養羽数が多く、大規模の農場で事例が発生しました。また、事例が発生した地域の特徴が関係しており、処分数が多かった関東（特に千葉県とその周辺）や香川県周辺は採卵鶏が多く、一方、宮崎県は肉用鶏の主要な産地です。この 2 つのことが採卵鶏の処分数が多かったこと及び西日本で肉用鶏の処分が西日本に偏っていることに関連していると考えられます。